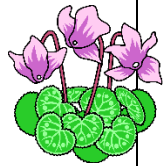




金楽寺

学校通信 第15号
令和3年12月9日
尼崎市立金楽寺小学校



😊 一人ひとりの笑顔が輝く 😊

1学期に続いて、休み時間に金小リズムジャンプを行っています。運動を楽しみながら、体力を向上させていこうという取り組みです。各学年が決まった日に運動場に出て、音楽に合わせてリズムよく、なわとびをしています。体を動かすことで爽快な気分を味わう子どもたちには、笑顔が輝き、頑張った満足感が広がっています。

さて、明日、12月10日は『人権デー (Human Rights Day)』です。1948年（昭和23年）の同日、国際連合で「世界人権宣言」が採択されたことに由来します。日本では、1949年から毎年12月4日から12月10日までを、「人権週間」として、みんなの「人権」を守っていくことを、呼びかけ、啓発する大切な1週間としています。

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。校内人権週間にちなんだ朝会で、人権で大切にしてほしい三つのこととして「自分」「周りの人」「いのち」についてお話ししました。

—自分を大切にすること—



『自分を大切にする』といっても『自分自身をかわいがり甘やかす』ということではありません。『自分を大切にする』ということは、『自分自身をよりよくしていこう。』ということではないかと思います。たとえば、勉強では「少しでもわかるように」、スポーツでは「より強く」「より速く」、生活面では、「より優しく」「より健康に」「規則正しく生活できるように」「ルールやマナーを守れる人に」・・・というように、自分をよりよくしていき、自分の夢や願いをかなえるため、しっかりと考え判断できる力を育てていきたいと思っています。

—周りの人を大切にすること—



私たちの周りには、様々な人がいます。家族、親戚、友達、ご近所の方々、学校の先生などです。いくら自分のことが大切でも、周りの人はどうでもいいというわけではありません。自分を大切にすると同じように、周りの人の気持ちを考えて行動したり、周りの人を大切にしたりすることも大切です。周りの人のことを思いやり、気を配っていくからこそ、自分もさらにいかされ、成長していくものだと思います。

—命を大切にすること—



「命」は言うまでもなく、ひとつしかありません。そのかけがえのない命（自分を含め周りの人の命）を大切にし、精一杯生きていくことが大切だと思います。そうすると、たくさん喜びを味わうことができ、楽しい経験もいっぱいできることでしょう。自分だけでなく、周りの人、命を大切にできる心を育てていきたいと思います。

今年は、第73回目の人権週間になります。法務省では、「『誰か』のことじゃない。」をキャッチコピーとして、17の啓発活動強調事項をあげ、啓発活動を展開しています。

残念なことではありますが、いじめや様々な差別、ネグレクト、児童虐待など、子どもに関する人権問題もあとを絶つことがありません。SNSを通じたトラブルも増加傾向にあります。偏見や差別の根絶、よりよい社会、誰もがくらしやすい、やさしい社会を次の世代につなげていかなければなりません。それには、ひとりひとりの意識と行動が大切です。人権課題は、「誰かのことではありません。」ひとりひとりが自分のこととして考えて行動し、みんなの笑顔が輝く社会にしていきたいものです。



金楽寺小学校でも、友だちのよいところを見つけて掲示する「スマイルレター」の取り組みをしています。みんなが、ひとりひとりみんな違うように、同じ人なんて誰もいません。ひとりひとりの違いを認めたり、自分や友だちの良いところを再発見したりすることで、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な取り組みです。

<<1月の授業参観について>>

次の通り、授業参観を予定しています。感染症の状況によっては、やむなく変更せざるを得ない場合もありますが、可能な限り、子どもたちの頑張っている様子をご覧いただけたらと思います。

1月19日（水） 2校時(9:35～)、3校時(10:40～)、4校時(11:30～)

- 教室内の密を避けるため、各時間帯のご来校は各家庭1名でお願いします。
- 詳細及び各学級の時間割は3学期にお知らせします。
- 多人数の来校が予想される学校行事の際には自転車での来校は、お断りしています。
- 授業参観と合わせて、各教室等の廊下で書き初め展も実施します。